

クラウドサービス向けセキュリティ対策 McAfee MVISION Cloud (CASB)

近年では、電子メールサービス、クラウドストレージ、社内システムのパブリッククラウド移行など 様々なクラウドサービスの利用が急速に進み、ビジネススピードや利便性が向上しています。

一方、不適切なクラウドサービス利用や、内部不正、設定不備といったことより、情報漏えい、システム乗っ取りといったリスクが顕在化しています。

不明確な利用状況

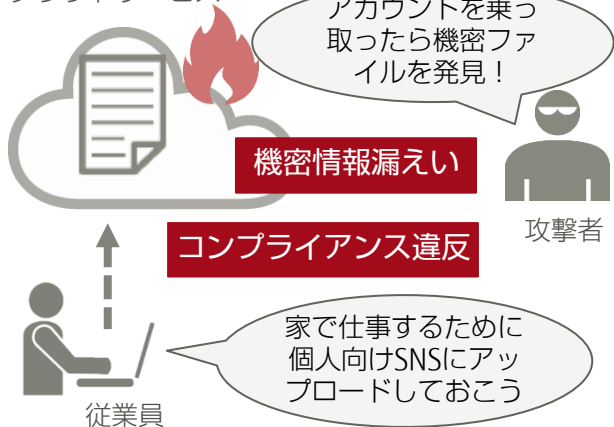
- ◆ 個人的なファイル（写真や動画等）を大量に社用クラウドストレージにアップロード
- ◆ 個人向けSNSをビジネス利用
- ◆ 私用デバイスにファイルをダウンロード

機密データの流出のリスク

- ◆ 適切なアクセス権付与を忘れ、全世界からアクセス可能になり、保存したデータが漏えい
- ◆ 内部犯行により公開情報と偽装した機密情報を共有して他社情報漏えい

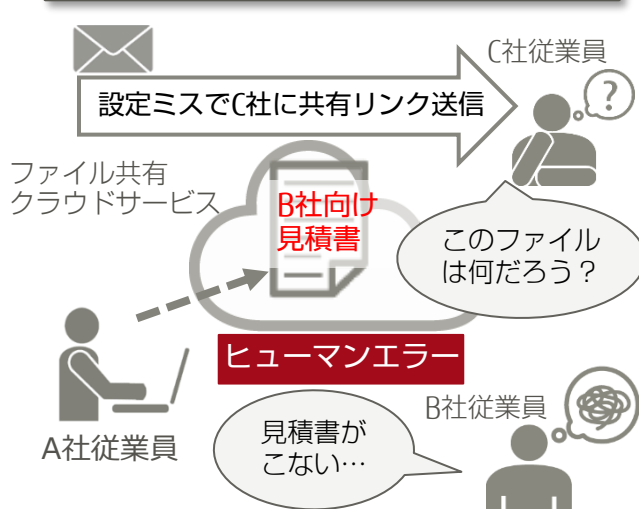
個人向けSNSの利用

個人向けSNS
クラウドサービス



クラウドサービスの利用状況を把握・制御します

ファイルの共有ミス

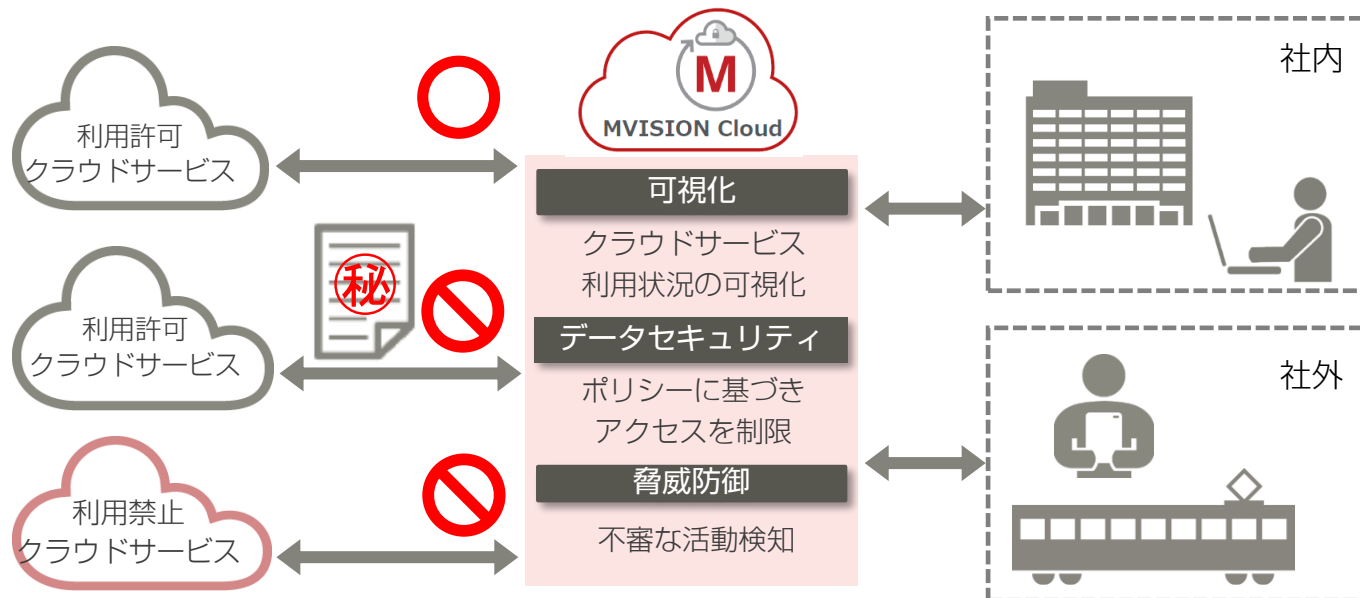


ルールにもとづき、データを制御します

McAfee MVISION Cloud が 解決します !

主な特徴

McAfee MVISION Cloud は、クラウドで提供されるCASB（Cloud Access Security Broker）サービスです。従業員が利用しているクラウドサービスの状況の可視化、制御、データ保護を実現します。



他社のCASB

プロキシへの設定変更

端末にエージェント導入

MVISION Cloud

ネットワーク設定変更不要

エージェントインストール不要

簡単に導入できます！

参考価格

製品名称	ライセンス単価	サービス内容
MVISION Cloud for Shadow IT	4,995円/1lic/年	Shadow IT クラウドサービスの利用状況を可視化。 利用者数（ユーザー）単位で必要。
MVISION Cloud for Office365 Mail / Sharepoint And Onedrive	5,394円/1lic/年	Sanctioned IT (0365) 認可クラウド(0365)の利用状況の可視化、データ追跡。 利用者数（ユーザー）単位で必要。 ※Sanctioned ITは、ご利用のクラウドサービスごとにライセンスを選択する必要があります。0365向け以外のライセンスについてはお問合せください。
MVISION Cloud for Azure	1,498,500円/1lic/年	Sanctioned IT (IaaS) IaaSにおけるアカウント監視やセキュリティ監査。 Azureサブスクリプション単位で必要。

※上記は一例です。詳細につきましてはお問合せください。

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2020年2月現在のものです。

お問い合わせ先

富士通株式会社

お問い合わせ総合窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

当社ホームページ <https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>